

プレミアム率 30% 販売数 4,000セット

美浦村 プレミアム付商品券 を販売します！

新型コロナウイルス感染症に対する経済対策として、コロナウイルス禍により落ち込んでいる村内経済を消費喚起により活性化させるとともに、一方で様々な形で日常生活に影響を受けている村民の生活支援を目的として、美浦村プレミアム付商品券を発行します。

▶**対象世帯** 美浦村に住民登録がある世帯が対象となり、各世帯に引換券(ハガキ)1枚を送付します。

▶販売限度額及びプレミアム率

- ・1セット6,500円分の商品券を5,000円で販売します。
※プレミアム分は、1,500円(プレミアム率30%)
 - ・引換券1枚で、3セット(商品券19,500円分)まで購入できます

※数回に分けて購入することも出来ます。

▶購入方法 美浦村から送付された引換券(ハガキ)を持参して、美浦村商工会にて

▶販売開始日 県令2年9月1日(火)午前9時から ※4,000セット

◎商品券が利用できる村内の店舗等につきましては、美浦村ホームページおよびみほ広報9月号配布

みほ文芸

正調俚謡 日和吟社 字結び「夜・空」一字以上詠み込み
夫と眺めた夜空の星を今はひとりで仰ぐ天
俚謡の導き「好月」師匠空を見上げりや光る星
夜空彩る花火に妻の胃ろう快癒を願う夫
夏の一夜を牽牛織女恋のかけ橋天の川
湯気が漂う空豆旨し母娘仲良く飲むビール
夜空見上げて院長涙過ぎしコロナ禍部下の顔
夜の街にはしばらく行けぬ手酌わびしいひとり酒
夜の川辺に飛び交うホタル風情なつかし恋し故郷と
晩の愉しみ球児の孫の腹を空かせた食いつぶり
何かいい事あるかも知れぬ梅雨の晴れ間の今朝の空
空気みたいいな二人の仲は心温まる幸の日々
夜の山麗尾を引く光空を見上げりや流れ星
コロナ感染三密避けりやネオン空しい夜の街
広い夜空を見上げてひとり昔話の天の川
夜空見上げて母の名呼べば遠く幼い日がよぎる
捨てる勇氣に空しさ交じり未だ断捨離出来ぬ日々
ちよつと出てきた稻穂のかげでほたる舞う夜の時を待つ
暑い今夜は焼酎飲んでひとりわびしく夢枕
暗い夜道ときれいな水に光群れ飛ぶホタル狩り
昼夜問わずに猛威を振るうコロナ予防の薬待つ
七月の俳句（題 当季雑詠）
凌霄花燃えて一日を咲き尽す
芍薬の荒れ地に絹を落しけり
紅き梅落ち切つて春終りけり
蚕飛ぶふる里の闇深きかな
梅雨空や三密避けて窓全開
鬼灯持ち浅草縁日もどりらん
打ち水をして待つ人は夜来る
宙打つて蚊遣火さがす夕まぐれ
あじさいの雨に母御の御靈ゆく
梅雨染り軒の滴でもう一句
夏帽子ぬげば丸刈卒寿祖父
荒梅雨の風音知らず深眠り
ぬくめの若き父持つ白傘

長谷川悦子 篠原美千代 飯塚筑風 酒川夢花 田島草実 沼寄朋香 石戸葎華 井戸賀鶴道 山崎笑子
高橋一步 山岸錦洋 小蘭江久美 門脇悠美 山崎笑子
増尾青蓮 小池きよし 山岡亜子 墓本夏雲 山崎泰弘 関根秀子
上野八千代 (五十音順) 青野安佐子 石毛恵美子 市川紀行 海道民子
高柳幸子 田島早苗 中島輝子 長田敏笑 増尾尚子 松葉蝶駿
宮崎きみ枝 松本秀子 松葉よしふ
松葉よしふ